

第 11 回通機会総会報告

副会長 田中基康 (2005 年卒)

2022 年 6 月 25 日 (土)、第 11 回通機会総会がオンラインにて開催されました。詳細は別添の「第 11 回通機会総会議事録」をご参照ください。また、総会で修正ののち承認された「通機会の今後と第 11 期活動計画」についても同封いたしますのでお目通しいただければ幸いです。

前期からの課題として、現状の体制での維持が困難な状況であり、通機会は大きな変革期にあります。次期体制の構築に向けて有志の方々と議論が進められています。

次期体制は、学内中心の運営から、学外者による役割分担、新たな運営への移行が必要となります。現体制の活動や通機会の財産である名簿や資金について、次期体制に引き継げるのか、引き継ぐとしたらどのように行うか、引き継げないとしたらどのような形で処理をするのか、通機会で作られた人脈、つながりをどのように残すか、など問題は山積しております。新しい通機会の在り方の一つとして、個人名簿は破棄、資金は大学や専攻に寄付、となる可能性もあります。

次期体制構築のためにご議論いただいている有志の方々については、総会の際には「グループ会委員会」という仮称がついておりましたが、その後、名称は正式に「新生通機会準備委員会」と呼称することになりました。

引き続き活動内容の検討と実務を行う協力者を募集しております。ご協力いただける方は下記にご連絡お願いいたします。

restart@tsukikai.mce.uec.ac.jp